

令和7年度 第1回 稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日 時】 令和7年10月2日 木曜日 午後1時55分から午後3時05分

【場 所】 稲沢市役所 3階 議員総会室

稲沢市男女共同参画審議会委員

【出席者】 田 中 明 子 名古屋文理大学 教授
五十嵐 紗 織 愛知文教女子短期大学 講師
戸 崎 伸 治 一宮公共職業安定所 所長
後 藤 恵 美 稲沢商工会議所女性会 顧問
佐久間 春 生 稲沢市ボランティア・市民活動連絡会 会長
犬 飼 祐 香 愛知男女共同参画人材育成セミナー 修了生
仙 石 早 苗 愛知男女共同参画人材育成セミナー 修了生

【欠席者】 近 藤 高 弘 稲沢市立大里東中学校 教頭

【稲沢市】 服 部 美 樹 市民福祉部長
中 村 昇 孝 地域協働課長
中 野 稔 地域協働課主幹
水 谷 隆 道 地域協働課主任

【会議概要】

1 あいさつ

[市民福祉部長あいさつ]

2 自己紹介

[出席委員及び事務局の自己紹介]

3 議題

(1) 会長・副会長の選出について

事務局から会長・副会長の選出について説明。

稲沢市男女共同参画審議会設置要綱第4条第1項の規定により、委員の互選で会長に田中明子委員、副会長に五十嵐紗織委員を選出した。

[会長あいさつ]

[副会長あいさつ]

(2) 令和6年度いなざわ男女共同参画プランⅢ進捗状況報告書（案）について

[事務局]

令和6年度いなざわ男女共同参画プランⅢ進捗状況報告書（案）により、令和6年度の実施状況、各委員のコメントについて説明。

(主な質疑・意見)

[委 員]

稲沢市には7名、女性の市議会議員がいる。男性のイメージが強い政治の場において、どういう思いで立候補したのか、苦労はなかったのかなど、この会議の場に来て、もしくはアンケートのような書面でお聞かせいただくと良いのではないか。そうしたことは可能か。

[事務局]

先方の都合等もあるため、この場では実施の可否について回答はできない。しかしながら、せっかく頂戴した御意見であるため、地域協働課において事務的な支障等ないか確認したうえで、実施について検討させていただく。なお、7名の議員の参会方式、または、アンケート方式の実施、どちらのパターンにおいても、本審議会で皆様の御意見をお聞きしながら進めていきたい。

[会 長]

他自治体と比較すると、制度自体は充実していると思われるが、市内の各地域における実際の雰囲気等はどうなのか。そのようなことで、なにか情報はないか。

[事務局]

地域協働課は区長さんや地域コミュニティを所管する部署であるため、窓口には区長さんをはじめとした地区の役員のかたが多く来訪されるが、地区の役員等が男性中心となってしまっているといったお困りごとや弊害も聞いたことはない。よくお聞きすることは、そもそも役員等の成り手、引き受け手がないということ。

しかしながら、数値で見た場合には、女性の区長さんは全体の1割にも満たないのは事実である。

[委 員]

地区の役員に関して、女性の方が断る雰囲気は実際のところあると思う。その結果として、地区の役員が男性だけになる傾向があると思う。女性側に「地区の役員は男性が担うもの」という意識があるとするならば、まず、意識改革が必要なのではないか。

[委 員]

PTAの役員でも同じことが言えると思われる。会長は大体、男性のイメージがある。そもそも、地区ごとに、充て職のような決めごとがあり、そこから変える必要がある。

[委 員]

DVに関して、日頃、配偶者からそうした行為を受けているというケースをきいたことがある。そのケースでは、本人は市役所等の相談窓口があることは知っているけれども、万が一、市役所へ相談したことを配偶者に知られた場合に、行為がさらにひどくなることを恐れて相談できないということだった。

[会 長]

相談体制が充実していても、相談のハードルが高かったり、相談することに抵抗があったりする場合には、せっかくの体制が機能することができない。したがって、相談のハードルを低くすること、相談しやすい環境整備が重要だと思われる。

[委 員]

DVに関連して、加害者、被害者になってしまう前の教育が非常に重要だと思う。加

害者、被害者にならないようにする教育はもちろん、被害者になってしまっても、一人で抱え込まず、まずは相談することの大切さ、そうしたことを学校教育のなかで子どもたちに伝えていく必要があると思う。

[会 長]

いまの御意見をぜひ、本日欠席している近藤委員にも伝えてほしい。

[委 員]

他市町の同様の会議において、ある役所の担当者から「委員は男性にして欲しい」と言われたことがある。本日の会議は男性が少ないが、委員選出にあたって、そうした依頼の仕方ではバランスをとることはしているのか。

[事務局]

稲沢商工会議所女性会のように、会員の皆様の性別が女性であるため、選出委員が女性となることは当然あるものの、市としては、本審議会の委員選出にあたっては、推薦依頼先において適任者を御推薦いただいた結果だと認識している。したがって、当方から委員選出に当たり、性別を指定して依頼することはない。

[委 員]

確かに、なかなか公の会議で、今日のように女性の方が多いというものは少ないと思われる。しかしながら、過去には公募委員も含めて男女同数であったこともあるので、関係各所が適任者を推薦した結果だと思われる。

[副会長]

報告書（案）について、本案の作成に際して、非常に多くの課が関わっていること、そして、それを事務局がとりまとめていることから、見ただけで事務量の多さが伺える。

また、中身を確認すると、所管課は異なるものの、内容が重複しているものがいくつかある。次期計画の作成に当たっては、まとめ方を工夫するなどして、事務負担の軽減を図った方がよい。

[会 長]

次期計画と公募委員の話が出たが、次期計画の策定に関連して、現行計画策定時と同様、現委員に加えて委員を公募するという想定か。

[事務局]

委員を公募することは選択肢の一つとして検討している。まだ検討段階であるため、具体的なことは決まっていない。しかしながら、もし、実際に委員を公募となった場合、諸手続きの期間も考慮すると、最も早い委嘱時期は令和8年6月1日付と考えている。

4 その他

- ・令和7年度 第2回 稲沢市男女共同参画審議会の開催について

[事務局]

プランⅣの作成にあたり、今年度末頃に第2回審議会を開催する可能性がある旨、伝達。

(午後3時05分散会)